

業務委託仕様書

1 趣旨及び目的

宝が池公園（京都市左京区）は、京都市内唯一の広域公園として広大な園地と豊かな自然景観を誇り、地域の自治組織や公園で活動する市民団体、周辺企業等、同公園に関係する方が多数おられる一方、生物多様性の低下や施設の不足等の課題も有している。

本市では、こうした状況を踏まえ、宝が池公園において、地域や民間企業と一緒に公園の使い方を考え柔軟な利活用を試行する「公民連携 公園利活用トライアル事業」（令和3～5年度）や、公園運営の担い手発掘と参加者の学び・交流促進・ニーズ把握等を目的とした「交流会」（令和4～5年度）を実施し、多様な主体が公園運営に参画し公園の魅力向上に取り組む機運の醸成を図ってきた。

これらの取組を足がかりに、令和5年3月には、地域自治組織や公園で活動する市民団体、周辺企業、本市等約30の団体・有識者が参画する対話・連携の場として「宝が池みらい共創会議」の準備会がスタートし、令和5年11月には任意団体として正式発足した。

当会議の目的は、宝が池公園に関わる多様な主体の積極的な参画及び公民連携のもと、本公園の将来像を共有するとともに、その実現に向けた取組を実践することにより、持続可能で魅力ある公園づくり、ひいては周辺地域の活性化へとつなげていくことにあり、約1年にわたる会議での議論を経て、令和6年3月には、今後の活動方針となる「宝が池みらい共創指針」が取りまとめられたところである。

令和6年度は、「宝が池みらい共創指針」の推進に必要な取組の検討を行うとともに、「宝が池みらい共創会議」を継続運営しながら、宝が池公園のファン（関係人口）や活動の担い手増加につながる情報発信等の事業を行うこととしており、本業務は、その支援を行うものである。

2 業務内容

(1) 「宝が池みらい共創指針」の推進に係る取組検討及び会議運営

ア 「宝が池みらい共創会議」を核とした公園づくりに係る打合せ支援

- ・ 本市及び受託者に不足する知見や能力を補完する人材（以下「コアメンバー」という。）を招請し、打合せ等を行う。
- ・ 打合せの回数は12回程度を想定する。
- ・ コアメンバーについては、専門性、経験等を勘案して、本市と協議のうえ、3名程度を選定する。
- ・ 議題の整理、助言並びにコアメンバーへの謝礼、交通費及び宿泊費（以下「謝礼等」

という。)の支払いは必須業務とし、その他の業務は受託者の提案による。

【参考】本市の謝礼等の基準

謝礼：日額10,000円

交通費：京都市旅費条例に定める額（例：令和6年4月現在、東京駅から宝が池公園まで招請する場合、28,920円（通常期換算））

宿泊費：1夜につき13,100円

イ 「宝が池みらい共創会議」の運営支援

- ・ (1)アに基づく打合せでの議論を踏まえ、本市及びコアメンバーとともに会議の運営を支援する。
- ・ 会議の回数は3回程度を想定する。
- ・ コアメンバー以外に、会議に必要な有識者・専門人材を2名程度招請する。
- ・ コアメンバー及び招請する有識者・専門人材への謝礼等の支払いは必須業務とし、その他の業務は受託者の提案による。なお、会議の議題は「宝が池みらい共創指針」に記載のロードマップを踏まえ、受託者の提案のもと、本市と調整のうえ、(1)アの打合せを経て決定される。このため、応募事業者は、各回の会議のテーマ、議論の手法、会議開催に至るまでの関係者との事前調整の流れ、各回の会議と会議以外の活動との関係について明らかにしつつ、別紙2「評価表」に記載の観点から具体的に提案すること。

(2) 情報発信支援

ア 既存の情報発信ツールを活用した公園関係者の活動や公園の魅力の発信業務

- ・ (1)アに基づく打合せでの議論を踏まえ、宝が池公園のファン（関係人口）や活動の担い手の増加に向けた情報発信等の事業実施を支援する。
- ・ 「宝が池みらい共創指針」の推進に資する活動取材し、読者に応じた記事を検討作成のうえ、一般に公開する。
- ・ 情報発信のツールは現在運用中のツール（3を参照のこと）又はその他の既存の情報発信ツールとし、受託者の提案による。ツール運営に係る後年度の経費負担は少ないものが望ましい。
- ・ 文字や画像、レイアウト、デザイン等については、本市の確認を受け、指示に従い校正を行うこと。
- ・ 宝が池公園周辺地域への回覧又は公共施設への配架に伴う紙の印刷は本業務に含まない。

イ 情報発信及び公園関係者の連携・交流促進を目的とする企画の実施

- ・ 本市及びコアメンバーとともに、必要な情報を発信しつつ公園関係者の連携や交流促進にもつながるイベント等を企画し、運営を支援する。

(3) 報告書の作成

- ・ 検討した内容について、報告書として取りまとめる。
- ・ 作成した報告書は電子データ（CD-RまたはDVD-Rに保存）として2部提出する。

3 参考資料

(1) 宝が池みらい共創指針（京都市公式ホームページ「京都市情報館」）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000323711.html>

(2) Facebook

<https://www.facebook.com/kyoto.takaragaikepark>

(3) Instagram

<https://www.instagram.com/takaragaikepark/>

(4) 宝が池ニュースレターv o l . 1

https://drive.google.com/file/d/1knZyTsmjEI_wIt5HIb_wpTBLCd-zNKK/view?fbclid=IwAR3TvOC7s0pEGc5tL8z1zahnEZ5f05bSCHth-44to20MGLYmgMry2bDPga0

(5) 宝が池ニュースレターv o l . 2

https://drive.google.com/file/d/1FTI2LU1e87643WM1JeXGLI1P3edWh_P8/view?fbclid=IwAR39Fd6ADV92hcDZ0gtw20n1KxHdyeqg7bDKLnag02UG82-4t9MwaqH738

(6) 宝が池ニュースレターv o l . 3

https://drive.google.com/file/d/1Fwp72wmgZ9TtUAUqD3XhSz3BbqWhGZHq/view?fbclid=IwAR2j6yxt_y3cNHnioCFyvJvJPP4WWq1ynVmuW_VPEhTJ9dYZk8Tj-ghZEUM

(7) 宝が池公園の柔軟な運営に向けた活動レポート「…だから、宝が池。」

https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000001927.html?fbclid=IwAR3rXQY-Xz-_qZFdVVBDsLsHGFK0tHFvfBm4YpzdWdKp7-cmNAc4CgXYc_Y

(8) 「公民連携 公園利活用トライアル事業 おそとチャレンジ」実施報告書

<https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000001621.html>